

木の建築フォーラム企画 海外視察のご案内

2024 カーボンニュートラルのまちづくりを視察するデンマーク一周の旅

2024年9月5日(木)～13日(金)9日間



デンマーク

コペンハーゲン・オーデンセ・リーベ・エスビャウ・オーフス



企画：NPO 木の建築フォーラム

旅行手配：西鉄旅行株式会社



2024 カーボンニュートラルのまちづくりを視察するデンマーク一周の旅

— デンマークの伝統的木造建築の街並みと BIG(ビャルケ・インゲルス)/HL(ヘニング・ラーセン)/KAAA(隈研吾)などによる最新のデンマークの環境建築を巡ります。 —

ツアー概要

2025年にヨーロッパの諸都市に先駆けて、カーボンニュートラルを目指す、首都コペンハーゲン。風力、バイオマスなどの自然エネルギーへの転換を大胆に進めると同時に、自然エネルギー由来による交通システムと歩行者と自転車のための都市デザインを進め、歴史ある街並みを残しながら、緑あふれる都市空間を作り出しています。新しい建築においては、二酸化炭素を吸収、蓄積し、循環する建築材料として木材を活用し、魅力的な、自然と共にある建築やランドスケープを生み出しています。

今回のツアーでは、デンマークの伝統的な木造建築や街並みに加えて、カーボンニュートラルのまちづくりや BIG(ビャルケ・インゲルス)などによる、最新のデンマークデザインにも触れる予定です。コペンハーゲンでは新しいまちづくりが進むノルトハウンを、古い街並みを残すアンデルセンの故郷オーデンセ、美しい自然を残すユネスコ世界遺産のワッデン海と古都リーベ、オーフスなどを巡り、デンマークの文化と自然に浸ることができるデンマーク一周の旅となります。是非ご参加下さい。





募集要項

- 視察期間 : 2024年9月5日(木)～2024年9月13日(金)7泊9日間
- 団長 : 大橋好光(東京都市大学名誉教授/NPO 木の建築フォーラム理事長)
- 副団長 : 横田昌幸(アーバンエコロジー研究所代表/NPO 木の建築フォーラム理事)
- 視察日程 : 日程表ご参照
- 募集人員 : 25名(最少催行人員20名)
- 旅行代金 : 2名1室利用の場合のお一人様料金
¥788,000 (エコノミークラス利用)
¥1,058,000 (プレミアムエコノミークラス利用) ※1
¥1,408,000 (ビジネスクラス利用) ※2
(一人部屋の場合追加料金¥180,000)
- ※1、※2 お申込後の予約となりますので、予約時期により料金に変更になる場合や、満席で予約がお取り出来ない場合がございますので、予めご了承ください。
- 《旅行代金に含まれるもの》
日程表に明記した航空運賃(スカンジナビア航空)、宿泊料金、現地交通費、食事代(朝7回、昼6回、夜7回)、視察・見学先入場券代、現地ガイド代、団体行動中のチップ等諸経費、添乗員同行費用
- 《旅行代金に含まれないもの》
国内・海外空港諸税(3月1日現在約10,340円)、燃油サーチャージ(3月1日現在79,400円)、出発空港までの交通費、手荷物重量超過料金、任意の海外旅行傷害保険、現地でのお飲み物代等個人的費用
- 取消料規定 : ご参加者のご都合でお取消し生じた場合には規定の取消料を申し受けます。
- ・2024年8月5日までのお取消し…………… 無料
 - ・2024年8月6日～8月21日までのお取消しのご連絡…旅行代金の20%
 - ・2024年8月22日～9月2日までのお取消しのご連絡…旅行代金の30%
 - ・2024年9月3日～9月5日当日のお取消しのご連絡…旅行代金の50%
 - ・旅行開始後又は無連絡不参加……………旅行代金の100%
- ※尚、上記に関わらず航空券手配及び現地手配において、別途定められた取消料が発生する場合には、その実額費用により取消料を別途申し受けます。
- 申込締切日 : 2024年6月28日(金) * 定員になり次第、締切りとなりますので、予めご了承ください。
- 申込み先 : NPO 木の建築フォーラム事務局 TEL. 03-5840-6405 FAX. 03-5840-6406
E-mail: office@forum.or.jp
- 企画 : NPO 木の建築フォーラム 担当 横田昌幸
- 旅行手配 : 西鉄旅行株式会社 横浜支店 観光庁長官登録旅行業第579号
〒231-0021 横浜市中区日本大通15(横浜朝日会館) TEL:045-201-2016
総合旅行業務取扱管理者: 小野勝彦

視 察 ツ ア ー 日 程

day	月日	都市名	時間	交通	行程	食事
1	9/5(木)	羽田空港発 コペンハーゲン着	11:45 18:15 20:00	SK984 専用車	羽田空港集合 スカンジナビア航空直行便(13h30min.) カストラップ国際空港着 ホテル着 コペンハーゲン泊 (Hotel Copenhagen Island 予定)	機内食 夕食H
2	9/6(金)	コペンハーゲン	9:00 12:00 18:00	専用車	コペンハーゲン市内 ハーバーとノルトハウ ・BLOX(OMA)/・デンマーク王立図書館(SHL) ニューハウNyhaven 運河沿いの19世紀の木造建築の街並み ノルトハウNordhaven ・BIG(ビャルケ・インゲルス)本社 ・UN City(3XN)/・HLの新木造オフィス ・アマガーエネルギーパーク Copen Hill(BIG)/・Bio-4 Biomass発電所 ホテル着 コペンハーゲン泊 (Hotel Copenhagen Island 予定)	朝食H 昼食C 夕食H
3	9/7(土)	コペンハーゲン	8:30 11:30 18:00	専用車	コペンハーゲン近郊 リュンビュン 他 ・ドルテアヴェイ集合住宅Dortheavej 2 Residences(BIG), ・グルンドヴィークス教会(P・V クリント他) ・ハウスヴェア教会 (ヨーン・ウォッツオン) ・フリーラント野外博物館 Frilandsmuseet, 大型木造風車建築他見学 ・ウォーターカルチャーセンター (KKAA,隈研吾都市建築設計事務所) ・Living Spaces Copenhagen (EFFEKT) CN居住空間実験施設 ホテル着 オーデンセ泊 (First Hote Grand 予定)	朝食H 昼食BL 夕食H
4	9/8(日)	オーデンセ	9:00 11:30 16:30	専用車	オーデンセ市内 ・Dymak HQ (BIG) カーボンニュートラル新木造本社屋 ・フュン野外博物館 フュン島の大型茅葺農家 ・HCアンデルセン博物館 (KKAA) 自由行動 オーデンセ泊 (First Hote Grand 予定)	朝食H 昼食R 夕食R
5	9/9(月)	リーベ エスビャウ	9:00 12:30 17:00	専用車	デンマーク最古の交易都市リーベRiebeへ 木造旧市街見学 ヴァイス・ステュー(1580年) 最古のホテルで昼食 ユネスコ世界自然遺産wadden海へ ・Marsk Waden Sea Camp/Marsk Tower (BIG) ・wadden海洋センター (ドーテ・マンドロップ) 茅葺の現代木造建築 ・A Place to Hotel Esbjerg (BIG) エスビャウ泊 (A Place to Hotel Esbjerg 予定)	朝食H 昼食R 夕食H
6	9/10(火)	オーフス	8:30 11:30 17:00	専用車	エスビャウからオーフス市内へ ・オーフス市庁舎 (アルネ・ヤコブセン) ・ガムレ・ビュ国立民族博物館 (伝統的木造建築市街) ・Kampanilen(BIG)集合住宅 ・アロス・オーフス美術館(SHL) ・Dokk1オーフス公立図書館(SHL) ホテル着 オーフス泊 (Radison blue Scandia Aarhus Hotel 予定)	朝食H 昼食BL 夕食H
7	9/11(水)	コペンハーゲン	8:30 12:00 17:00	専用車 Ferry	オーフス港ferry乗り場へ Oddenまでferry約1時間、コペンハーゲンへ コペンハーゲン旧市街で昼食 自由行動 コペンハーゲン中央駅(木造駅舎)/市庁舎/ストロイエなど 空港ホテルへ コペンハーゲン空港泊 (Comfort Copenhagen Airport 予定)	朝食H 昼食C 夕食H
8	9/12(木)	コペンハーゲン発	9:30 12:25	SK983	ホテル発 カストラップ国際空港発 スカンジナビア航空直行便	朝食H 機内食
9	9/13(金)	羽田空港着	7:55	SK983	羽田空港第3ターミナル到着予定	

*(緑字) : Architect/設計事務所

*専用車は貸切バスを使用

*食事 H:Hotel, BL:Box lunch, R:Restaurant, C:Cafeteria

*訪問先、時間は変更になる場合もございます。

視察訪問予定箇所、建築の概要

凡例(緑字): architect/architectural design office)

コペンハーゲン Copenhagen

・ハーバーエリアとニューハウン

古い木造倉庫が並び、水も汚れていた旧港湾地区(harbor エリア)は、古い建物を活かしながら、インフラや公共施設を整備して活気ある都市に生まれ変わった。水上バスが走り、自転車と歩行者のための専用道や橋が美しくデザインされ、公園と一体となって美しい景観が作られている。

・Blox(OMA Office of Metropolitan Architecture)

Harbor に面してデンマークの産業技術開発の拠点として建設されたイノベーションセンター。

デンマーク建築センター(DAC)の他 Creative Denmark や Bloxhub など様々な施設を含む複合施設である。世界で活躍するオランダの OMA のデザイン。複雑な空間要素を巧みに組み合わせ繋ぎ合わせて魅力的な建築を形作る。7つのボックスが千鳥状に配置され、広場、公園、大階段の都市空間を形成させている。

DAC では新旧のデンマーク建築・デザインの概要・動向を学ぶ事ができる。

・デンマーク王立図書館 Black-Diamond(SHL シュミット・ハマー・ラッセン建築事務所)

環境建築としても有名な王立図書館の増築棟。単なる図書館でなく公共サービスの拠点であり、スマートシティのハブでもある。内装は木を多用している。

(<https://scandinavian-architects.com/ja/schmidt-hammer-lassen-copenhagen-s/project/the-royal-library>)

・ニューハウン Nyhavn

19世紀の港湾の古い木造建築の街並みが残る。1970年代まで打ち捨てられていたこの街並みは保存整備されて、港町コペンハーゲンらしいカラフルな街に変貌した。またいち早く自動車通行を禁止し歩行者専用の道とすることで、店舗が広がり、コペンハーゲンを代表する観光拠点となった。



Blox(手前)とデンマーク王立図書館(奥)



Nyhaven

・ノルトハウン

ノルトハウンはコペンハーゲンの新たな港湾開発エリアでマスタープランを COBE 建築事務所が手がけている。最新のサステナブル建築や集合住宅が建ち並んでいる新しい街である。

・BIG HQ(BIG ビャルケ・インゲルス・グループ)(<https://big.dk/projects/big-hq-11526>)

昨年できたばかりの BIG(ビャルケ・インゲルス・グループ)の本社ビル。BIG はトヨタの東富士のスマートシティ woven city をデザインしていることで日本でも有名であるが、今や世界中の大プロジェクトを手がけていて、デンマークを代表する建築家・ランドスケープデザイナーである。

・UNCity (3XN) (<https://3xn.com/project/un-city>)

サステナブルビルとしてコペンハーゲンで最も有名な建物で、国連関連の多くの組織を収容する施設。設計は古い建物をイノベティブに活用することが得意な3XN。中央の黒い階段が魅力的なデザインである。

・Marmormolen (HL Henning Larsen Architects)

ノルトハウンにヘニング・ラーセン事務所が設計している北欧最大の木造建築とも言われている複合オフィスMarmormolen が工事中で 2024 年末完成。このエリアで合わせて視察(予定)。

(<https://www.wonderfulcopenhagen.com/wonderful-copenhagen/international-press/henning-larsen-architects-enrich-copenhagen-one-largest-wood-projects-scandinavia>)



UNCity



Marmormolen

・ Amager テクノロジーパーク ゴミ発電施設 Copen Hill HOFOR バイオマス発電所

コペンハーゲンのカーボンニュートラルで重要な自然エネルギーのインフラストラクチャー。BIG を一躍有名にした CopenHill はフラットなコペンハーゲンに山と見立てたランドマークとして、ごみ焼却プラントをスキー場にしたもの。都市のインフラを市民が常に楽しめる施設に変えた。

・Copenhill: Amager Bakke (BIG SLA) (<https://big.dk/projects/copenhill-2391>)

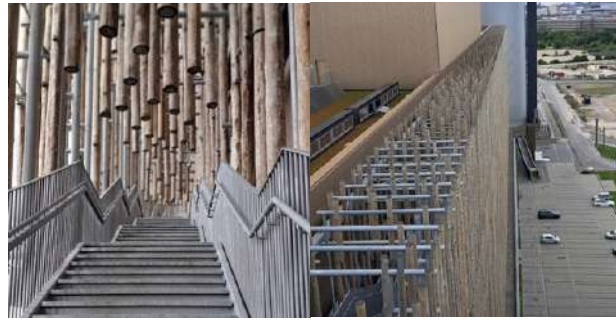
・Bio-4 HOFER Amagervaerket(Gottlieb Paludan Architects)

Bio-4 HOFER Amagervaerket 発電所は 150MW の巨大なバイオマス発電所。外装には幾重にも丸太を吊した、森をイメージした特異なファサードをデザインしている。屋上には展望デッキが設けられていて市民に開放されている。丸太に覆われた階段を登ると山上にたどり着くという構想である。夜は丸太ルーバーが美しくライトアップされる。デンマークデザインの画期的なのはこれら都市施設を市民が常に使って楽しめる施設とする事である。屋上からはミドルグリーン要塞から続く、ミドルグリーン海上風力発電所が一望出来る。

(<https://www.archdaily.com/631048/gottlieb-paludan-architects-design-a-forest-inspired-biomass-unit-for-copenhagen>)



Amager テクノロジーパークとミドルグリーン海上風力発電所を望む。



Copenhill

Bio-4 HOFER Amagervaerket

ミドルグリーン風車

・サイクルスランゲン Cycleslangen (Dissing+Weitling, Mikeal Colville-Andersen)

宿泊予定ホテルのすぐ近くに空中に浮かぶ長さ220mの自転車専用道。

・カクタスタワー(BIG) (<https://big.dk/projects/kaktus-towers-10789>)

サボテンの形状が特徴の昨年完成したBIGの集合住宅。宿泊ホテルから見える位置にある。

・ネアポート駅 Norreport Station (COBE) (<https://www.cobe.dk/projects/norreport-station>)

カーボンニュートラルのまちづくりとして、歩行者や自転車のためのランドスケープデザインがある。デンマークは、公園と一体化しアートワークが組み込まれたこれらの都市空間があちこちに整備されている。ネアポート中央駅は車を制限し、人と自転車の利用を優先した、カーボンニュートラルな先進的な計画。太陽光+屋上緑化のフラットな屋根とガラスチューブの換気塔、パビリオンが視界を妨げないように柔らかく配置されている。

・スーパーキーレン Superkilen(BIG) (<https://big.dk/projects/superkilen-1621>)

移民の多い地区に計画された細長い公園で、50カ国の由来の遊具や多彩なアートワークが散りばめられた、美しく楽しい公園。SDGs 建築ガイドで紹介されている。

・ドルテアヴェイ集合住宅 Dortheavej 2 Residences(BIG),

UIAの「SDGsの建築ガイド」で紹介されたアフォーダブル住宅。モジュールユニットを積み上げたデザイン。外装に木を使っている。(<https://big.dk/projects/dortheavej-2-residences-24429>)

・グルンドヴィークス教会(P・V クリント他) 装飾が排除された白煉瓦の礼拝堂

・ハウスヴェア教会(ヨーン・ウォッツオン) 工場のような外観を持つコンクリートの近代建築。

・フリーラント野外博物館 Frilandsmuseet,

(<https://en.natmus.dk/museums-and-palaces/the-open-air-museum/>)

19世紀に開園した歴史を持つ、村ごとと生活様式も保存する野外博物館。巨大な木造軸組で茅葺の巨大風車などの頑強な木造建築物が現存し、バイキングの船造りに起源を持つ伝統的な木造建築を見学できる。

40haの敷地にデンマーク各地から80棟の建物が集められている。デンマーク人のライフスタイルと心の故郷。中には藤森照信先生お気に入りの海藻と土で作られた屋根を持つ1736年レーセ島の農家などもある。



- ・オペラ公園 The Opera Park(COBE)(<https://www.cobe.dk/projects/operapark>)

デンマーク王立オペラハウスに隣接して作られた、建物が自然に飲み込まれた公園施設。

- ・ウォーターカルチャーセンター(KKAA,隈研吾都市建築設計事務所)

オペラ公園の運河を挟んで、隣地に建設中のレンガ造りの市民プール。

(<https://kkaa.co.jp/project/waterfront-culture-center/>)

- ・ Living spaces Copenhagen(EFFEKT)(<https://buildforlife.velux.com/en/livingplaces>)

サッシメーカー、ベルックスが建設したカーボンニュートラル居住空間実験場。SDGs のライフスタイルも併せて提案している。

オーデンセ Odense

- ・ Dymak HQ, (BIG) (<https://big.dk/projects/dymak-hq-16408>)

ダイマック社の新本社屋は高速道路からオーデンセのインター脇のロケーションにあり、凹んだ大きなドーナツ屋根が特徴的な建築である。この屋根には 880 枚の太陽光パネルが一体として敷き詰められており、季節の変化に対応して一定の電力を生み出すような曲面の勾配がつけられている。BIG によれば、伝統的なハーフトインバーの軸組構造をイメージして CLT を線材として使用している純木造の建築である。

(<https://dymak.dk/new-hq-virtual-tour/>)

- ・オーデンセ EV 高速充電ステーション(COBE) (<https://www.cobe.dk/projects/ultra-fast-charging-stations-for-electrical-cars>)

COBE のデザインした EV 高速充電ステーションは木製のツリー状の1本足の屋根ユニットを規模に応じて組み立てられるモジュール建築、オーデンセの他コペンハーゲンやオーフスにも多数建築されている。オーデンセの事例では屋上緑化されている。

- ・フン野外博物館 Den Fynske Langsby(https://en.wikipedia.org/wiki/The_Funen_Village)

18~19 世紀のフン島の民家が集められてアンデルセン童話の街と生活がそのまま保存されたような場所。ここの大きな茅葺き屋根を乗せた古い農家を利用した民家レストラン Sortebro Kro で昼食予定。

- ・HC Andersen Museum,(KKAA) (<https://kkaa.co.jp/en/project/new-hans-christian-andersen-museum/>)

旧市街の中心部に建つ隈研吾によってデザインされた HC アンデルセンの増築棟。純木造。

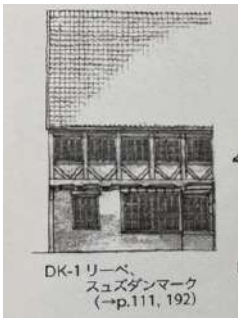
円形の屋根は屋上緑化され、建物の存在がほとんど意識されない公園のような建築。



リーベ／エスビャウ Ribe／Esbjerg

・リーベ旧市街 ヴァイス・ステュー (<http://www.weis-stue.dk/en/about-the-house>)

リーベは7世紀にバイキングが入植してからデンマーク最古の交易港として栄えた商都で、16世紀以降のハーフトインバーの木造軸組構法にレンガ壁を埋め込んだ建築群が残されている。美しいトルヴェット通りにあるヴァイス・ステュー(Weis Stue,1580)は築400年のデンマーク最古のホテル。太田邦夫先生の「木のヨーロッパ」にスケッチがある。ここで昼食(予定)



K. Oota

ヴァイス・ステュー

リーベ旧市街

・ワッデン海洋センター Wadden Sea Center, ([Dorte Mandrup](#))

(<https://dortemandrup.dk/work/wadden-sea-centre-denmark>)

(<https://www.archdaily.com/868361/wade-sea-centre-dorte-mandrup-a-s>)

ユネスコ世界自然遺産ワッデン海はヨーロッパ3国に連なる広大な干潟で、多くの渡鳥や、多様な動植物を育む、地球上に残された貴重な自然遺産である。Wadden Sea Center はドーテ・マンドロップの設計した純木造で大きな茅葺屋根を載せたモダンデザインの建築で、このエリアで採集可能な循環する建材を使用している。UIA のSDGsのための建築ガイドに大きく紹介されている建物である。

・ Marsk Tower, ([BIG](#)) (<https://big.dk/projects/marsk-tower-4092>)

Wadden 海を体験し、楽しむための施設として、デンマークの巨大海運会社 MARSK が作った Wadden sea camp 内の BIG がデザインした二重螺旋のタワー。これは会津サザエ堂と同じ構造で一方通行で上がって降りて来られる不思議な空間構造を持っている。上部は広がっていて Wadden 海の眺望が楽しめるようになっている。Camp 内の他の建築群は茅葺。



ワッデン海洋センター

Marsk Tower

・A place to Hotel Esbjerg ([BIG](#))

コペンハーゲンの集合住宅カクタスタワーと同様のコンセプトでデザインされたホテル。ここに宿泊(予定)。最上階はレストランで世界遺産ワッデン海を望むことができる。

オフィス Aarhus.

・Aarhus City Hall, (アルネ・ヤコブセン) (<https://arnejacobsen.com/works/aarhus-city-hall/>)

オフィス市庁舎は、デンマークを代表する近代建築家アルネ・ヤコブセンによるもので、内装では木が多用されており、トップライトの拡散光に溢れる、北欧らしい美しい建物である。1942年築。数あるヤコブセンの公共建築の中でも際立って美しい。



・ARoS Aarhus Art Museum, (SHL シュミット・ハマー・ラッセン建築事務所)

(<https://www.shl.dk/work/aros-aarhus-art-museum>)

・Dokk1 (SHL シュミット・ハマー・ラッセン建築事務所) (<https://www.shl.dk/work/dokk1>)

オフィスはデンマークを代表する建築事務所であるシュミット・ハマー・ラッセン事務所 (SHL) が拠点とする都市で、SHL の2つの建物、アロス・オフィス現代美術館と公立図書館 Dokk1 (ドッケン) を視察する。美術館は市庁舎に隣接し、中心部に位置している。美術館最上階の展望台は環境芸術家オラファー・エリアソンがデザインし増築されたもので必見である。また市民に愛されるデンマーク最大の市民図書館は現代図書館の模範例とされ世界の注目を集めてきた。単に図書館に留まらない複合施設で、スマートシティのハブとして街のコミュニティの中心となっている。

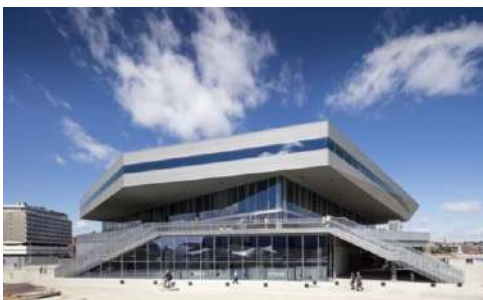
・ガムレ・ビュ国立民族博物館 Den Gamle By

オフィスのオールドシティが街ごと保存された国立民族博物館 Den Gamle By があり、街のアミューズメントパークになっている。5~6階建てのハーフティンバーの軸組構造の大型の木造建築がある。パーク内にはレストランやカフェも多く設けられている。

・Kampanilen, (BIG) (<https://big.dk/projects/kampanilen-14736>)他

・Sneglehusene (BIG) (<https://big.dk/projects/aarhus-harbor-masterplan-2828>)

新港湾エリア開発は BIG がマスタープランを手がけておりオフィスの新しい集合住宅群は BIG の手になるものが多い。Sneglehusene residences はドルテアヴェイと同じアフォーダブル住宅。



Dokk1.



Den Gamle By.



Sneglehusene residences

・オーフスからオッデンへのフェリー

海運王国デンマークならではの ferry の旅、オーフス港から対岸のシェラン島のオッデン港まで 1 時間ぐらいであるがデンマークの島々と、デンマークに 5000 基あると言われる風力発電の風車の新たなランドスケープの一部を見ることが出来る。



コペンハーゲン Copenhagen

コペンハーゲンでは最終日午後自由時間があり、歴史的建築物を各自探索するもよし、旧市街の商店街でお土産を買い求めたり、気に入ったカフェで時間を過ごすのも楽しい。

・コペンハーゲン中央駅 Central Station

1911 年竣工の煉瓦と木造の大型駅舎。集成材アーチの大屋根が美しい。



中央駅



市庁舎

・コペンハーゲン市庁舎 City Hall, ([Martin Nyrop](#))

1905 年に出来た赤煉瓦の庁舎。建物中央にガラス屋根をかけて出来た 3 階吹き抜けのホールでは様々なイベントが行われる。3 階の木製のアーチ列柱が美しい。ストロイエの西端に建つ。

・ストロイエ Stroget, 市庁舎広場から続く 1.1km の通りと広場からなる歩行者専用空間の商店街。賑わいに溢れ、人間中心の街コペンハーゲンを象徴する街並みとなっている。ロイヤルコペンハーゲン本店がある。

・ヴェスター ヴォルドゲード通り

市庁舎からハーバーへ続く 1km の大通り。4 車線の車道を 2 車線に減らして 10m 幅の歩行者空間を作った。コペンハーゲンらしい歩行者のためのアーバンデザインが施されている。

・VM Houses, (BIG) (<https://big.dk/projects/vm-houses-2181>) 集合住宅

BIG が初めて注目を集めたバルコニーが特徴的な集合住宅。コペンハーゲンからバスで空港へ行く途中にある。The mountain も 8 house も同じエリアにある。

・The Mountain (BIG) (<https://big.dk/projects/the-mountain-1430>) 集合住宅

・8 House (BIG) (<https://big.dk/projects/8-house-2021>) 集合住宅

2024 カーボンニュートラルのまちづくりを視察するデンマーク一周の旅 参加申込書

※ご提出いただいた情報は旅行手配に必要な範囲のみ、旅行会社を通じ使用をさせていただきます。

お申込日 2024年 月 日

氏名	【漢字】			性別
	【ローマ字】 (パスポート記載の表記)	FAMILY NAME (苗字)	FIRST NAME (名前)	男・女
生年月日	西暦	年	月	日
ご自宅住所	(〒 —)			
ご自宅電話番号	—	—	携帯電話	
所属先			部署名	
			役職	
所属先住所	(〒 —)			
所属先電話番号			連絡先 <small>○で囲んでください</small>	自宅電話・携帯電話・所属先電話
e-mail アドレス				
緊急時の連絡先	氏名:	(続柄:)	連絡先:	— —
パスポートについて	現在有効なパスポートを所持して <input type="checkbox"/> いる ・ <input type="checkbox"/> いない ※いるとご回答の方は下記をご記入下さい			
	有効なパスポート番号:		※2024年12月5日まで有効な旅券	
	発行日:西暦	年	月	日
航空機クラス希望	<input type="checkbox"/> ビジネスクラス <input type="checkbox"/> プレミアムエコノミークラス <input type="checkbox"/> エコノミークラス			
お1人部屋希望	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> なし (2名1室) 有料(追加料金 180,000円) 同室希望者(様)			
ご連絡事項	ご連絡事項等ございましたらご記入ください。			

※申込書と合わせてパスポートのコピーもご提出ください。(顔写真のページ カラー、白黒どちらでも可)

●送付先 : NPO 木の建築フォーラム・事務局 担当: 横田宛

〒112-0004 東京都文京区後楽 1-7-12 林友ビル4階 TEL: 03-5840-6405 FAX: 03-5840-6406

E-mail: office@forum.or.jp ※FAX で送信お申込みの場合は、必ずお電話で着信確認をお願いいたします。